

反歌二首 はんか

一三二番

石見いはみのや 高角山たかつのやまの 木この間まより 我わが振ふる袖そでを
妹見いもみつらむか

一三三番

笹ささの葉はは 山やまもさやに さやげども 我われは妹思いもおも
ふ 別わかれ来きぬれば

或本あるほんの反歌はんかに日いく

一三四番

石見いはみなる 高角山たかつのやまの 木この間まゆも 我わが袖振そでふるを
妹見いもみけむかも